

公開講座

公益社団法人

日本測量協会

中国の古代測量術と邪馬台国

中国の天文・測量に関する古代の教科書に周髀算経と九章算術があります。緯度決定法、緯線間隔距離の計算、海を隔てた島（山）の高さと距離の測量法、などが述べられています。前後2点からの見通しによる海島の測量は九章算術に述べられている通り、直角三角形の比例計算と連立1次方程式で得られます。しかし周髀算経の1寸千里法は実践的であっても、原理（天文宇宙観）は間違っています。また「寸」と「里」の関係についても大きな問題があります。この1寸千里法と行程解釈（邪馬台国所在地論）との関係について話します。

①屈曲の多い道路距離は測れない（参考：伊能の導線法）、海流のある海峡横断の航路はフラクタル次元をもつ直線になるか、追跡曲線か、変分原理に基づく最適曲線か、などですが、何人もこのような航路を設定することはできず、したがって航路距離は測れません。

②緯線間隔1度が110km（伊能忠敬は1度28.2里と計測）であることを間縄の実測で確かめれば、1寸千里法は北緯35度付近では有効な方法です。経度が異なっても、方位が30、45、60度などであれば、周髀算経のピタゴラスの定理から、斜め距離が計算できます。

◆日時 平成26年1月29日(水)

16時より

講演 16:00～17:00 質疑応答 17:00～17:30

◆講師 野上道男氏（東京都立大学名誉教授）

○著書「魏志倭人伝・卑弥呼・日本書紀をつなぐ糸」（古今書院刊、2012年）

◆会場 公益社団法人日本測量協会研修室（東京都文京区小石川1-3-4）

◆参加費 無料

◆CPDポイント 測量CPDを1ポイント発行

◆募集人員 30名（定員になり次第締切らせていただきます）

◆申込方法 申込はメールまたはFAXで事前登録が必要です

※氏名・所属(会社)・連絡先(電話・FAX)・メールアドレス・CPD登録番号
(登録済みの方)を明記の上お送りください。

★申込先 E-mail : open-lecture@jsurvey.jp FAX:03-5684-3366

Tel:03-5684-3360

(担当: 甘楽 実)